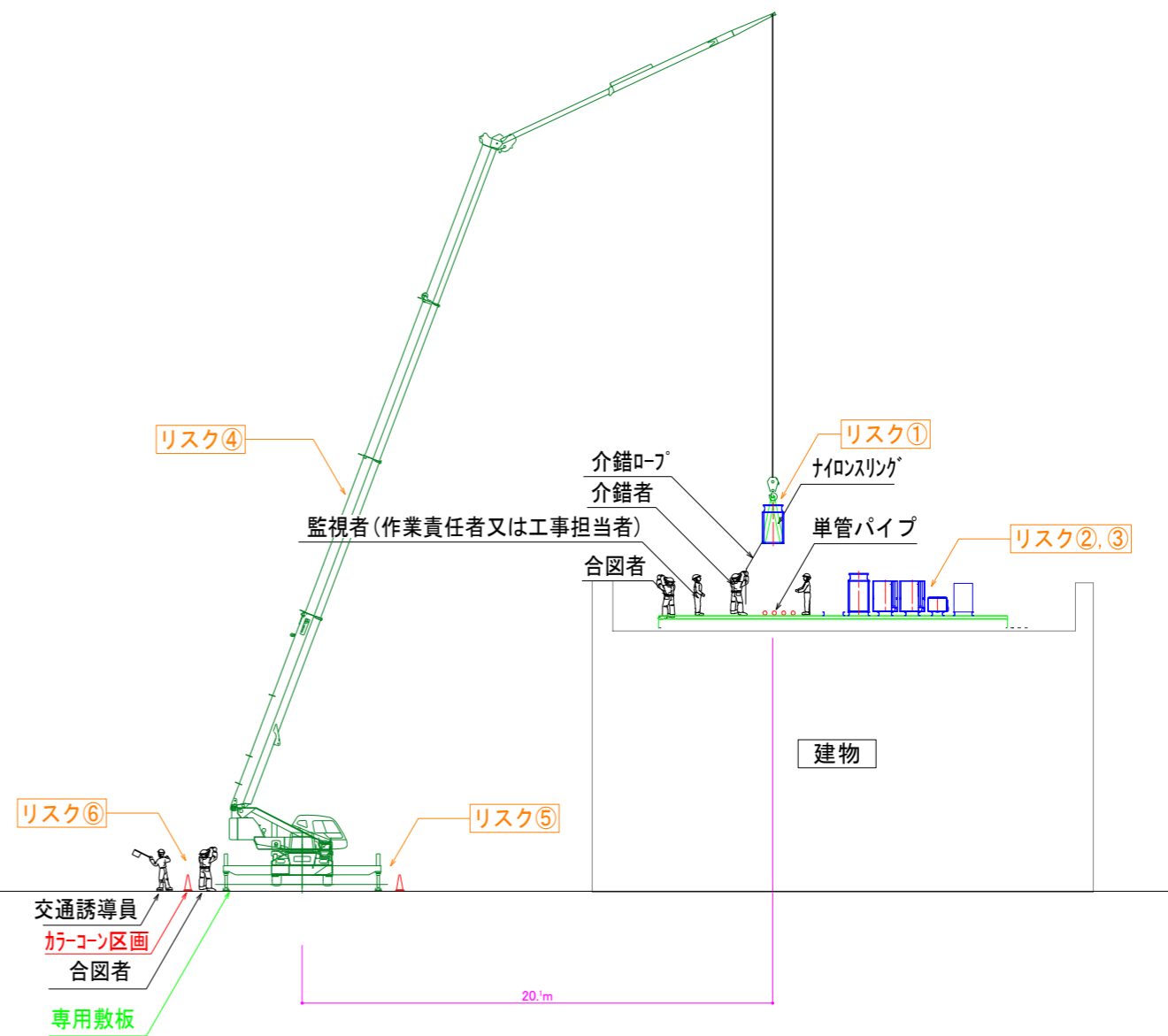


- リスク①：荷揚げ時に機器の吊りが外れ落下させる。  
対策①：玉掛け者は地切り確認を確実に行う。  
吊り荷の下には立ち入らない。
- リスク②：屋上作業時に資材が飛散する。  
対策②：屋上作業時に飛散恐れのある資材は都度袋に入れて重しを乗せて飛散対策を行う。  
室外機の養生材は、揚重作業前に外せる範囲で外す。
- リスク③：室外機据付け時に指詰めする。  
対策③：室外機据付け時は適正人員で行い、声掛けを徹底する。
- リスク④：クレーンが足場材に接触し、足場材が落下する。  
対策④：工事担当者が作業前にオペレーターへ注意喚起を行い、旋回範囲の確認を行う。
- リスク⑤：地盤が陥没し、クレーンが転倒する。  
対策⑤：敷板を敷き、地切り後地盤状態に問題が無いかを確認する。
- リスク⑥：作業範囲内に人が進入し、機器を落下させ怪我をさせる。  
対策⑥：作業範囲内はカーブコーンを設置し、進入防止対策を行う。



クレーン揚重作業計画図(一例)